

# 地域の学び舎

小城市立小中一貫校

かん らん

## 芦刈観瀾校

創立139年（明治8年）  
児童生徒数 422名（内、児童270名）

### 芦刈観瀾校の教育

芦刈観瀾校は、芦刈小学校と芦刈中学校を校舎一体型の小中一貫校として新しく開校した学校です。子どもたちは、有明海に面した緑豊かな大地で、同じ校舎の中で9年間を共に過ごします。小中一貫による系統的・計画的な教育により、郷土小城市（芦刈町）を愛し、グローバル社会で活躍できる子どもの育成を目指します。

### 学校教育目標

ふるさとを愛し、未来を拓く、  
心身ともに元気な子どもの育成

### 学校目標

『共に』

共に学び・共に考え・共に創る

9年間の一貫した系統的・計画的な教育活動

小学部				中学部				
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
前期				中期			後期	
基礎・定着				基礎・活用			探究・発展	
☆規則正しい生活 ☆基礎的内容の定着を図る学習				☆「めあて」をもった生活 ☆基礎的内容を活用する力を育成する学習			☆「向上心」のある生活 ☆主体的に課題を見だし、探究する力を育成する学習	
学級担任制				教科担任制				

## 編集後記

「海の中に桜咲いたる日本かな」(村上鬼城) ▼ 桜で埋め尽くされた日本列島が大海原に浮かぶ姿がイメージされるスケールの大きな作風は、四季の移ろいゆく自然観照の中で培われた世界一とも言える感覚の繊細さゆえの賜もの。▼これからの世界の中で生き残るための日本の活路、また日本の中で生き残る小城市の活路は先祖代々組み込まれた世界一の繊細なDNAを駆使し、小城市の自然・風土、歴史、文化に根ざした誰にもコピーされぬ独自の世界を見つけることだろう。▼文化や人材の輸出の後押しは日本の活路の一つ。今回から表紙と裏表紙を一新、市内の文化財と国家百年の計の実践場である学び舎を紹介して参ります。▼新メンバーでより良い紙面づくりに努めますので御鞭撻の程よろしく。

(富)

芦刈小学校 校歌

一、ああ観瀾の名は遠く  
我が学び舎の幾星霜  
日進月歩きわみなき  
民主日本の幸つけて  
集う四百有余人

二、麗らかに照る春の日を  
清く伸びゆく稲のごと  
自然の風打ちたえて  
黄金の秋の光ること  
学舎はこれぞ人の道

### 校訓 ○友愛 ○進取 ○剛健



### 「観瀾」について

「観瀾」とは、明治18年に芦刈に最初に設立された小学校の校名です。観は「みる」と読み、瀾は「なみ」という字です。有明海の波の見える地で、海のように広々とした大らかな人間として大成してほしいという思いや夢に向かって努力していこうという思いから名付けられたのでしょうか。観瀾小学校が芦刈小学校と改名された後も、「観瀾」は芦刈の人々から親しみのある言葉として心に刻みこまれています。

『中林梧竹 書』

書聖中林梧竹が書かれた「観瀾」の扁額は、校長室に掲げています。

